

女子高等師範學校教諭 黑田定治君校閲 堀越源次郎氏 土屋權四郎氏 共著

# 國語綴り方

クロス洋紙製  
紙數百八十頁餘  
定價金四拾錢  
郵稅六錢

## 附錄 國語綴り方練習帖

尋常科拾錢  
高等科拾錢

●本書は小學校國語綴り方につき是が修述の方法程度及材料の撰擇上幾多の疑問を明解し文例及教授方法を各學年各學期各月に配當して示し且兒童をして綴らしむる各般の場合につき丁寧に意見を述べたるものにて要は實地教育者諸君敎壇の好伴侶たりしむるにあり又附錄として別に兒童用綴り方練習帖あり之を用ふる兒童諸君の便

發兌 東京日本橋區本石町三丁目廿三番地

金昌堂

發兌

大阪東區備後町四丁目

石井書店

高等師範學校講師文學士遠藤隆吉氏著

# 現今の社會學

定價金三拾錢  
郵稅金四錢

社會學の書公刊せらるゝ者多しと雖も概ね翻譯の類のみ其日本學者の著述に係かり且嶄新の説を以て著述せられし者之を現今の社會學となす斯書は學士の特見に屬する所の集合意識説を以て一貫せる者にして其見識の卓拔なる議論の明晰なる而して行文の流暢なる毫も遺憾とすべき所なし且つ學士の豊富なる學植を以て社會諸般の事實を把へず來り僅に之を數十頁に縮めたる者なるを以て字々味あり句々真理あり他の引き延ばして社目的とせる書に類せず弊堂學士に乞ふて出版の榮を得たり社會の大勢に着目する人乞ふ一讀して以て其價値の存する所以を知了せられんことを

發兌 大阪備後町四丁目 集成堂 東京日本橋本石町 金昌堂 東京神田表神保町 中西屋書店 各地賣捌所

總裁小松宮大妃殿下  
副總裁鍋島侯爵夫人  
大日本女學會發行  
(東京麴町區土手三番町廿八番地)



第七號發兌

第壹號以下再版出來せり

大賣捌 東京堂

每月一回廿五日發行定價金拾五錢全國無遞送料  
東京神田表神保町三

本誌は學識と經驗とに富み而も婦人問題に熱心なる諸名家の贊助により誠實に女子の本會を完うせんことを心がけらるゝ淑女達の友たらんとを期し世の俗流に阿りて漫りに讀者の多からんとを望まず總べて不要の裝飾を省きて専ら記事の精撰に努め以て婦人雜誌たる品格を保たんとす●本誌は其欄を論說學藝修身齊家世務史傳譚章詞藻雜錄時事彙報に別ち普通に掲載する家政上文學上の記事の外に(一)科學の大意を掲げ學理の概念を得しめ(二)和漢名著の綱要を掲げ諸書の涉獵に便ならしめ(三)法制理財の事を平易にもものし著き時事を説明し内外の情勢に通ぜしむ●本誌は野卑なる言語又は劣等なる戀愛に關する文字を避け且つ賣藥其他下品なる廣告を掲げず●本誌は勤儉貯蓄の美風を獎勵せん爲に毎號慈善貯金切手を挿入して其模範を示す

### 第七號目次

(卷首筆蹟)鳩山春子筆歌かるた(論說)理想の日本婦人中島音樂學校講師○女子の職業に就いて添田法學博士(學藝)心理學大意島村抱月○論語丸井文學士○法句經野原藍水○構文上の用意五十嵐力○美術一斑紀淑雄○作文批評今泉定介○作歌批評大口綱二(修身)女子の心得香雪女史(齊家)家政上注意すべき訓令談法學士H.T.○下婢の待遇に就いて石黒定美○改良女服仕立方渡邊東京裁縫女學校長○家庭遊戲西川政憲(世務)經濟談伊藤秋南○鑛山の話石井相洋○各地産業の實況(史傳)英女皇傳下田歌子○國史上の婦人津田黃昏(譚草)暗流水谷不倒(詞藻)夏花三十題○みやび會員詞藻(雜錄)東海道汽車の旅喜田貞吉○皮膚の話川瀬ドクトル○圖案武千佐子(時事)時事偶感○女子職業の現況(彙報)迪宮殿下御移轉其他數件

(前付の二)

# 華族女學校學監下田歌子女史著 (毎月一回發行)

## 少女文庫

全部六册 和裝上製

正 壹册三拾五錢 ● 三册  
前金壹圓 ● 六册前金壹  
圓九拾錢郵稅一册六錢

博學高識女流の名家たる下田歌子女史曩に家庭文庫全部十二冊を完成して  
普く女子の心得べき事項を網羅し懇切に其學藝を指導せられたり故に世  
上に此編を愛讀せらるゝこと他書の比にあらざり又少女文庫を起稿せられ  
少婦兒女の讀本に備へられたり文詞莊麗挿圖又精妙を極む

第壹編お伽噺教草の挿畫は山中  
古洞氏の筆にて三十有餘面以て  
本文の説明を補ひたり第貳編庭  
訓お伽噺の挿畫は水野年方氏の  
筆にて廿五面を添ふ印刷鮮明紙  
質良好なり

第壹編 お伽噺教草 七月出版 第四編 外國少女鑑 十月出版

第貳編 庭訓お伽噺 八月出版 第五編 家庭の心得 十一月出版

第參編 內國少女鑑 九月出版 第六編 學校の心得 十二月出版

●第壹編 お伽噺教草 この書は少女が家庭教育に裨益あらんことを希ふ爲めに、東西のお伽噺の中  
最も智徳の涵養に利あるべしと思ふものを摘み、猶其れを、取捨増減して綴りたるものなり、されば  
咄の趣考は極めて斬新なるもの多し。この書文章體は最も平易を旨として記したれば、側ら作文の初  
學びにも裨益あるべし、書中對話體は主として都の詞づかひを用ゐたれば、少女が對話の榮となるべ  
し。なほ毎卷みな同じ文體を以て記すべし。

### 發兌元

東京市日本橋區本町三丁目

### 博文館

諸博士  
先生序文  
巨理章三  
郎君著

# 孔門之德育

洋裝菊版  
定價金五拾錢  
郵稅金六錢

本書孔子に依りて千古不朽の教育の眞理を明かにした教育の大精神是に依りて解は師道の尊榮是に依りて知るを得べく一たび卷を開けば師愛し弟子相慕ふの間に甚深なる教化の行はれ置きて眞教育の恩光に浴するの想あらしむ今日の如く教育の精神萎微して徳教蕩然として自ら身を先哲の門下に育法研究の聲のみ識者之間に高くして未だ其目的の達せられたるも教育界に一大光明を加ふるべし教育者は更なる世の道徳に迷ふの時に方りて本書の如きは孔子及諸弟子の傳を載風教に志ある者本書を購ふて至重の典經と本書の如きは附録とし

足立栗  
園君編  
纂校訂

# 日本道德叢書

第壹編  
定價金五拾錢  
郵稅金八錢

## 要次目

- 〔武士訓〕これは井澤蟠龍の著、武士日常の道德を説く者言の
- 〔六諭衍義大意〕これは室鳩巢の和譯したる者
- 〔都鄙問答〕これは石田梅巖の著
- 〔會友大旨〕これは手島堵庵の著、心學か三教を折衷せし趣は此
- 〔父子問答〕これは小柴武雄の著
- 〔袋〕これは西川求林齋の著、商業道德が如何に近世に

發行所

東京市神田區美土代町二丁目  
一番地(電話本局二四二〇番)

開發社

(前付の四)